

これで解消 つきやなせ!

上着としては、ウインドブレーカーや選手のスポーツジャケットなどを着るのが一般的。要は長袖だったら何でもいっけ。作業用のツナギを着ている人なんかもいる。もちろん、トレーナーだけでもOK。夏場はTシャツ+ウインドブレーカーという組み合わせが手軽かな。半袖はダメだよ。



グローブは必需品。素手では絶対に走らせてくれない。一番いいのは、もちろんレーシンググローブ。革がやわらかく手に馴染むので操作しやすい。ドライブ用のグローブでもいいけれど、指がむき出したのはダメ。半袖シャツがダメなのと同じで、万が一の際の安全性が求められるからだ。

もちろんヘルメットも必需品。これがないと走れない。安全性にこだわるならフルフェイスがベストだけれど、ジェットタイプでも別に問題なし。実際は2輪用のヘルメットを使っている人が多いね。スクーター用に持っているのがあれば、それでよし。でも、ドカヘルは危ないからダメだよ。

パンツはもう圧倒的にジーンズが多い。簡単なマシンメンテを現場でやることだって少なくないから、動きやすく多少の汚れも気にならないジーンズが、やっぱりお勧め。ようするに、ジョギングパンツなどの短パン以外なら何だってOK。別にスラックスやスーツで走ったって構いません。好きなもの履いとくれ。

シューズはスニーカーやスポーツシューズがいい。間違っても、革靴なんか履いていかないこと。走れないわけじゃないけど、ヒール部に厚みがあるとヒール&トーがやりづらい。それに、微妙なベグタッチを体に覚え込ませるためにも、靴底がある程度薄くて柔らかいスポーツ系のシューズがいい。つまり、みんな持っているわけ。

走行会のために開発された専用グッズもあるぞ。

せっかく走行会に出るんだから、カッコ良く決めたい。もしキミがそう思うなら、やっぱりレーシングウェアが一番だ。でも、高いんだよね。特にレーシングスーツなんか10万円以上するから、ちょっと手が出ない。

そこでお勧めしたいのが、走行会用に開発

された専用グッズ類。機能性もファッション性も申し分なくて、価格は圧倒的に安い! ここに紹介した3点は、アディダスとの共同開発で大阪のトライアルプロジェクト(0722-54-9777)が発売しているもの。はっきり言って、ひじょ〜に魅力的なのだ。



ケブラーパッドを内蔵した「アディダス・走行会スーツ」。本格仕様なのに、価格は驚異の28,000円! サイズはS、M、L、LLで、色も豊富に揃っている。



ストリートからサーキットまで使えるように開発された「アディダス・スーパードライビングシューズ」。サーキット用としての機能はもちろん、さらに街中ユースの耐久性までも加えたスグレモノだ。色はブルーとレッドの2タイプで、サイズは25~27.5cm。価格は16,000円。



フィット感と操作性にすぐれた「バックスキングローブ」。レース仕様とも言える出来映えで8,000円という低価格が大きな魅力。サイズはS、M、L、LLで、カラーバリエーションは6色もある。